

STC 東京支部主催特別企画 ドキュメントソリューション公開コンペ 第3弾 日本企業の疑問「コンテンツマネジメントはどう実現する？」に挑む

STC 東京支部
2009年8月作成

課題(RFP 原案)

前提

- ✓ CMS(コンテンツマネジメントシステム)とは
 - コンテンツのライフサイクル(生成や流通)を管理すること
 - 同時に、ナレッジ管理やワークフロー管理をツール運用のあり方とともに見直すこと
- ✓ CMS(コンテンツマネジメント)の機能
 - データおよび情報の「収集機能」、「管理機能」、「発行機能」から構成される
- ✓ CMS(コンテンツマネジメント)の実装ポイント
 - クロスメディアにおけるデータ、アセット、情報、知識の管理手法(ID管理、システム基盤)に関する考え方を検討
 - 情報アーキテクチャ(情報分析や情報整理)の観点を活用して情報設計、テンプレート設計を実行

考え方

1. <現状>を確認しながら、基本となる<要求>をクリアできる「CMSツールの提案」、「導入方法の提案」、「実装方法の提案」、「運用方法の提案」といった観点から実現していただきたい
2. その上で、<課題>をクリアするような特徴を出した提案にしていきたい

要求

- ✓ 世界7ヶ国(北米、南米、ロシア、ドイツ、フランス、中国、韓国)に展開するメーカーA社が、新製品の企画・製造・販売に際し、新製品マニュアルの管理(執筆・修正・管理・運用)を多言語・多拠点にて行いたい。
 - Point: 多言語・多拠点による分散管理の実現/ワークフロー管理の実現
- ✓ 新製品のための開発仕様書から、多くの種類のドキュメントに情報を展開したい。たとえば、製品マニュアル(紙・PDF)、セールスマニュアル、サービスマニュアルに加え、A社ウェブサイトからも新製品情報のコーナーとして発信するなど、データの一元管理を行いたい。
 - Point: ワンソースマルチユース・データの一元管理の実現
- ✓ 前回製品のデータの分析・入力を含めて、6ヶ月後に始まる新製品のための開発仕様の検討に

間に合わせたい。その6ヶ月後(導入から1年後)には、上記の運用を開始したい。

- ✓ 上記の条件を満たすことのできる「CMS(コンテンツマネジメントシステム)ツール」と「その導入・実装・運用方法」の提案を要求したい。

現状

- ✓ 新製品の開発仕様書は、開発拠点のある日本の開発技術者が担当。日本語版マニュアル、セールスマニュアル、サービスマニュアルの書き起こしは、日本の各担当部門にて執筆。スタイルガイドや用語集などは最低限のルール集がある程度。
- ✓ 海外向けマニュアルは、現地拠点での担当(日本人ではない)が、日本の開発担当や各部門担当と連携して、作成・修正・変更等の管理を行っている状況。
- ✓ ウェブサイトの管理は、日本のウェブサイトは日本のウェブ部門が管理・運用し、各国のウェブサイトは各国ウェブ担当が日本のウェブ担当の管理指導の下で運用
- ✓

課題

- ✓ 新製品と同シリーズの製品が大量に存在しており、新製品開発時には、毎回半分程度の仕様改良が行われている。
 - Point: 過去のドキュメントとの差分管理
- ✓ 新製品は、日本と他国において世界同時出荷を行わねばならない。
 - Point: コンテンツの公開における進行管理
- ✓ 海外の各国特有の情報は、日本のスタイルガイドや用語集とは別に各国の既定に準拠しなければならない。
 - Point: 共通ドキュメント(ガイドライン・用語集・ルール集)などのカスタマイズ、差分管理

RFP 条件

- ✓ 以上の状況を踏まえ、各プレゼンター企業は、上記の条件を解決できる「CMS ツール、導入方法、実装方法、運用方法」のソリューションの提案を行ってください。
- ✓ ソリューション提案においては、<現状>を鑑みながら、<要求>を網羅できる提案とした上で、更に、<課題>を解決できるような提案を行ってください。
- ✓ すべての<要件>を満たしたり、すべての<課題>をクリアしたりしなくても結構ですが、できない場合は、どの<要件>や<課題>に焦点を絞った前提でのソリューション提案であるか、予め明示してください。